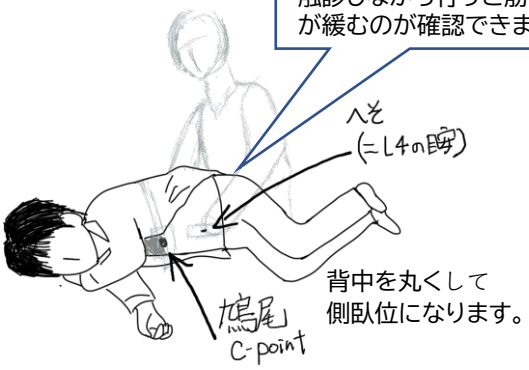
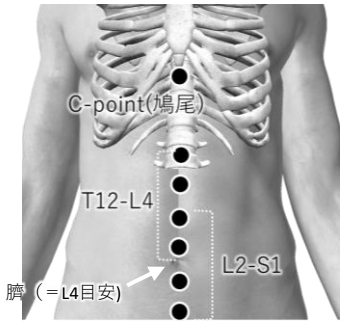
苦境を乗り越える為に、一緒に遠絡もご活用ください

今回は、
ポジショニングと遠絡をテーマに
腰のケアをご紹介いたします。

左の図の腹部の治療点に側臥位で照射し、硬結している筋の硬さを手の平で触診しながら行うと筋硬結が緩むのが確認できます。





※治療器を試されたい先生はお問い合わせください。

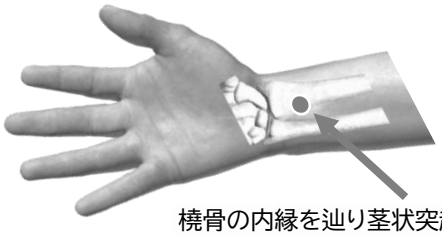
◎症状がある側を上にした側臥位で腰への督脈治療をお試しください。

※鳩尾押しをベルトで押さえて行うと便利です。
施術者は患者の背側から照射すると安定します。

◎ポジションニングと小さな運動が**1点の治療点**で効果が倍増！

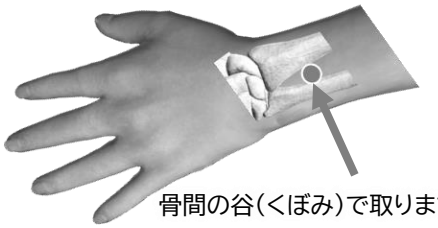
※側臥位で股関節と膝関節を屈曲すると腰臀部の筋肉の緊張が緩みやすくなります。そこに適度な運動を加えると血流を促すことにもつながります。更にC-pointで連接すると運動効果が促進されます。セルフケアでもできますのでお試しください。

≪処置1≫
反対側のTxⅠの1(C-point)のレベルになります。



橈骨の内縁を辿り茎状突起の隆起で止まる所

≪処置2≫
同側のTyⅡの2(C-point)のレベルになります。



骨間の谷(くぼみ)で取ります。TxⅡ/2の裏、手背側。

運動課題

腰臀部の緊張が一番軽くなる角度に曲げます。

大腿部の長軸方向にゆっくりと優しくゆすります。

※ゆする程度の運動で、腸骨から仙骨にかけての腰臀部が軽くなります。

※治療点を押しながらゆっくりと優しく運動を行ってください。

こちらのFBからも
遠絡情報を発信して
おりますので、是非
覗いてみてください。
リクエストお待ちしております。

お問い合わせ
株式会社システムプランニングコンストラクション
日本遠絡統合医療研究所㈱NETIK
FAX092-588-6201
Mail;yamato@spc-group.co.jp(担当:大和)

※今後も遠絡の活用情報をご希望いただける先生は、下記のアドレスへメールをお送りください。